



# 能登やさしいこめづくり情報

令和3年3月  
能登米振興協議会  
能登米生産者協議会  
能登南部営農推進協議会  
J A 能登わかば

## 育苗編

### 「5つの1か月対策」 育苗日数は1か月以内！

- ・昔から「苗半作」といわれるように、苗づくりの善し悪しはその年の収量や品質に影響します。
- ・良い苗とは「がっちりした太い苗」です。決して「長い苗」ではありません。
- ・苗の生育段階によって、管理が異なります。良い苗を作るためにも、生長に合わせて適切な管理をしていきましょう！

## 1 育苗ハウスの準備及び苗箱並べ

〔苗箱の並べ方1つで苗の揃いかわる〕

### ● 予めハウス内の地面はならしておきましょう。

→ ハウス内の地面に傾きや凸凹があると、生育に影響し苗が不揃いになります。

### ● 原則、地面にシートは敷かないでください。

→ シートを引くと、苗箱からの排水が妨げられ病害が発生しやすくなります。

### ● 温暖な日中(できれば風の無い午前中)に苗箱をハウス内に隙間なく並べましょう。

→ ハウスのヘリ(外縁)は低温や水滴がたまりやすく、苗が不揃いなるので、ヘリから10cm程度あけておきましょう。

### ● ハウスに並べた当日は原則、かん水しないでください。

→ この時期の水分過剰は病害の原因となります。過度に乾燥している場合のみ軽くかん水する程度としてください。

### ● 被覆資材(シルバーポルトウ等)で覆い遮光し、資材の特徴に応じて管理して下さい。

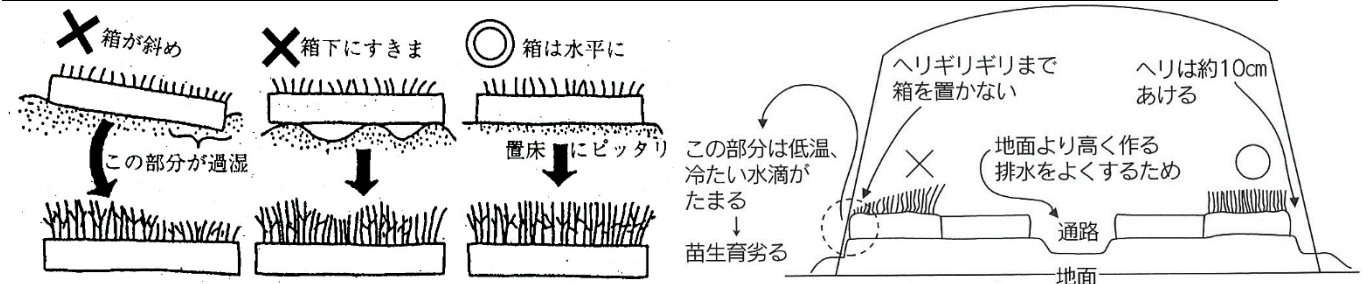


図1 苗箱の並べ方のポイント

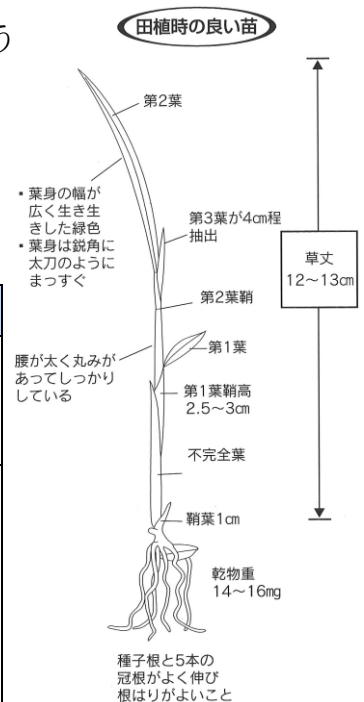
## 2 育苗期間の病害対策

〔ハウス内の温度管理でムレ苗の防止〕

- ・例年、ハウス内の温度管理の失敗により、ムレ苗の発生が多くみられます。
- ・急激な温度変化が起きないように、換気や温度管理に努めましょう。
- ① 高温時には換気し、高温(35℃以上)・多湿条件にならないようにして下さい。
- ② 緑化期以降は、急激な温度変化や多湿条件でムレ苗が発生しやすくなるので、日中は25℃以上、夜間は5℃以下にならないよう換気や保温に努めましょう。

表1 病害の原因と対策

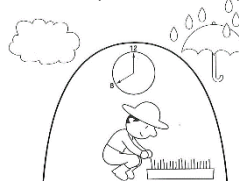
症状	病原菌	原因等	対策等	使用時期
白カビ 青カビ	リゾープス菌 トリコデルマ菌	・育苗初期によく見られ、高温・過湿条件で発生する。 ・換気を十分に行い、土の表面が乾き始めるまでかん水しない。	ダコレート水和剤 (2成分、使用回数2回まで) 500倍液を500mL/箱かん注	は種時～緑化期(は種後14日以内)
赤カビ	フザリウム菌	・高温条件で発生しやすい。	タチガレエースM液剤 (2成分、使用回数1回まで) 500倍液を500mL/箱かん注	は種時又は発芽後
ムレ苗	ビシューム菌	・急激な温度変化によって発生 ・pH5前後の通気性のある床土を使用 ・低温時は保温資材をかける。 ・夜間冷えた次の日が晴天の場合は、早めにハウスを開ける。	タチガレエースM液剤 (2成分、使用回数1回まで) 500倍液を500mL/箱かん注 後、寒冷紗等で遮光して蒸散を抑制する。	



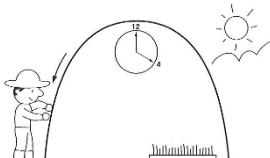
### 3 育苗管理について〔苗の生育に合わせた管理の徹底〕

#### ◆育苗初期(緑化期:3~4日間)【かん水を極力控える】

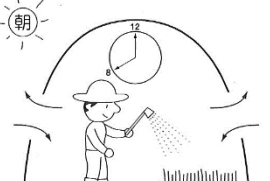
- ・第1葉の先端が見えて、葉が緑色となり、苗の高さが3cm程度となった時点が緑化となるため、イネの緑化を確認したら直ちに被覆資材を取り外して下さい。
- ・被覆資材のしわやヨレ、資材上部の水たまりは、高温障害(葉焼け)の原因となるので注意しましょう。

育苗初期(緑化期) (苗箱並べから3~4日間)	温度管理 (温度計は苗の高さ)	水管理
<p>・遮光のため、3~4日被覆</p>  <p>【朝7~8時】 土の乾燥を見て、必要なら少しかん水。</p>	<p>昼間: 20~25℃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 晴れた日は喚起し、<u>高温(25℃以上)にならないようする。</u></li> <li>→被覆資材が風でめくれないように注意。</li> </ul> <p>夜間: 15~20℃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>15℃を下回るときは、十分に被覆し保温。</u></li> <li>→霜注意報が出たときはストーブ等で加温。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>かん水は極力控える。</u></li> <li>→床土が極端に乾かない限りかん水しない。</li> <li>→過湿状態が続くと苗箱の温度が上がらず生育が遅れ、カビの発生を招く。</li> <li>● 寒冷紗の上から水をやらない。</li> <li>● 覆土の持ち上がりがある場合は軽くかん水。</li> </ul>

#### ◆育苗中期(硬化前期:8~10日間)【温度・湿度管理で病害防止】

硬化前期 (被覆除去8~10日間)	温度管理	水管理
 <p>【夕方15~16時】 ハウスを閉める</p>	<p>昼間: 15~20℃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 晴れた日は朝から換気。</li> <li>→夜間の低温が予想されるときは、午後早めに閉める。</li> <li>● 換気する場合は、<u>風が入らないよう風下側を開ける。</u></li> <li>→風に当たると葉がかすれ、生育に影響。</li> </ul> <p>夜間: 10~15℃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>10℃以下に冷え込むときは被覆し、保温に努める。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● かん水は、床土の乾き具合を見て朝1回。</li> <li>● 夕方のかん水は控え、必要な場合は翌朝かん水する。</li> <li>● 雨や曇の日は、<u>かん水を控える。</u></li> </ul>

#### ◆育苗後期(硬化後期:田植前8~10日間)【外気に慣らして田植え準備】

硬化後期 (田植え前8~10日間)	温度管理	水管理
 <p>【朝7~8時】 晴れた日は、水やりと換気</p>	<p>昼間: 15~20℃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日中はハウスを換気し外気にならす(順化)。温度が上がりすぎるときはハウスの腰部も開ける。</li> </ul> <p>夜間: 10~15℃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>田植え4~5日前からは夜間も換気。</u></li> <li>→極端に冷え込む日は、保温に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>毎朝たっぷり1回かん水。</u></li> <li>→苗箱の周辺部は乾きやすいので十分にかん水する。</li> <li>● <u>2回目のかん水が必要な場合は、午後3時までにはすませる。</u></li> <li>→夕方以降では水が冷たくなり、苗の生育に影響。</li> </ul>

#### 令和3年春の農作業安全確認運動(3~5月)の実施について

<令和3年のテーマ>「見直そう!農業機械作業の安全対策」

- ①安全フレーム、シートベルト未装備のトラクターの所有者について、安全フレーム等の追加装備や買い換えを呼びかけ・支援。同時にシートベルト・ヘルメットの着用徹底の呼びかけ
- ②トラクターへの灯火器設置等の促進
- ③現場での農業機械の日常的・定期的な点検・整備の呼びかけ



#### 「代かき後の濁水を河川へ流さないように努めましょう」

代かき後の濁水の流出は下流域の濁りの原因となります。ほ場からは僅かな流出でも、それらが集まると大きな河川の濁りにつながります。流出防止のために、代かき作業は浅水で行い、田植前に濁水を流す「強制落水」は行わないでください。